

2018年度 第1回 学校関係者評価委員会

日時： 2018年6月27日（水） 15:00～16:40

場所： 岩国YMCA国際医療福祉専門学校 1階 会議室

出席者： 宇都宮 幹二 岩国YMCA国際医療福祉専門学校 卒業生保護者
白銀 優子 岩国中央病院 総看護部長（本校看護学科第3期卒業生）
半田 達也 介護老人保健施設 みどり荘 事務長
藤本 孝夫 岩国市医療センター医師会病院 事務長
山田 真弓 岩国みなみ病院 看護師長
江見 享子 岩国YMCA国際医療福祉専門学校 校長
福水 美恵 岩国YMCA国際医療福祉専門学校 特別顧問・校長補佐
金澤 暁民 岩国YMCA国際医療福祉専門学校 自己点検・自己評価委員会委員長
沖島 均 岩国YMCA国際医療福祉専門学校 事務長

進行： 江見 享子

記録： 沖島 均

- 配布資料： 1) 2018年 学校関係者評価委員会 委員名簿
2) 2018年度 岩国YMCA国際医療福祉専門学校運営目標・運営方針および募集目標
3) 2018年度 福祉・介護への理解促進セミナー
4) YYカフェ実施状況および7月のチラシ
5) 2017年度岩国YMCA国際医療福祉専門学校 自己評価結果
6) 2017年度学生の実態・満足度調査結果

・今年度より委員の交代があったので、議題に入る前に委員の自己紹介を行った。

議題

1. 報告事項

1) 2018年度入学生

・沖島より今年度の入学者数の報告をした。保健看護学科50、看護学科14、医療秘書学科13、介護福祉学科11の合計88名。昨年度は92名。学生総数は今年度も昨年度もほぼ変わらない。

2) 2018年度学校運営目標

・福水特別顧問より今年度の学校運営目標について報告をした。詳細は別紙資料を参照のこと。
主に学生確保対策、地域貢献について説明があった。地域貢献の中で聴講生の受け入れを介護福祉学科だけでなく、医療秘書学科も検討していると説明があった。

3) 2018年度福祉・介護理解促進セミナー

・今年度7回のセミナーを計画しており、既に1回目が6月9日に終了し、26名の参加者であった。
7月以降のセミナーの内容については別紙資料参照のこと。

4) その他

・昨年度6月から岩国地区認知症介護者の会さくら草の会との共催による認知症カフェ（YYカフェ）を

開催し、ちょうど1年が経った。1年間の実施状況と7月の予定について報告があった。

- ・医療秘書学科だよりV o 1. 3について紹介があった。

すべての報告を終えて、委員からは以下の質問があった。

- ・国試の合格率について、また不合格者に対してのフォローはどうしているのか。
→ 保健師・看護師・介護福祉士の国家試験結果を報告した。また国試対策の取り組みについても説明をした。不合格者に対しては受験手続の代行や国試対策補講など出来る限りのことをしているが、遠方の卒業生に対してのフォローには苦慮している。
- ・広島方面の看護大学で准看護師の受験をさせているという話を聞くが、YMCAも受験させているのか。
→ 受験はさせていない。
- ・介護福祉学科の聴講生の対象者は。
→ 一般の方を対象にしている。
- ・オープンキャンパスの参加状況は毎年何名くらいか。家族割引制度はどんなものか。
→ 毎年250名くらいの参加者である。本校の在校生または卒業生の家族が入学した場合に入学金の一部を免除している。
- ・YMCA奨学金は何名くらいもらっているのか。
→ 毎年20名くらいもらっている。

2. 審議事項

1) 学校の自己評価結果のHPへの掲載原稿について

- ・金澤自己点検・自己評価委員長から2017年度の自己評価結果について説明があった。資料は別紙参照のこと。2016年度に比べ、11項目すべてにおいて評価が上がり、教員の努力の跡が見える結果となった。2016年度の結果を踏まえ、PDCAサイクルを実践できている。

委員から以下の意見があった。

- ・棒グラフの体裁を揃えた方が良い。また凡例の表示が途中で切れている箇所があるので、きちんと表示をした方が良い。
- ・11項目についての全体の結果の表で、2017年度と2016年度の平均点データを表示しているが、全体だけでなくすべての設問の表についても2ケ年のデータを表示した方が分かりやすいのではないかと。同様にすべてのグラフ表示も2ケ年のデータを表示した方が良い。

2) 2017年度学生の実態・満足度調査結果について

- ・金澤自己点検・自己評価委員長から学生の実態・満足度調査結果について説明があった。資料は別紙参照のこと。2017年度の結果では、全体として教員の学生への指導・関わりに対する満足度が上昇し、さらに教職員と学生との関係がとて良好だと答えた数も大きく上昇した。その反面、進路・就職に対する情報提供や学習環境（教室等の空調設備）について、不満を感じている学生が増えた。

委員から以下の質問があった。

- ・自由記載欄はあるのか。
→ ある。今回は資料として配布していないが、学科ごとにまとめたものがある。
- ・今年度の保健看護学科の入学生が50名になったことに対してペナルティーはあったのか。

- 今のところ山口県から口頭による注意だけである。ただし現実問題として授業を2クラスに分割するなど対応をしている。
- ・岩国市内、山口県内に就職を希望しない理由はどんなものか。
- 特に保健看護学科については広島方面の出身者が多く、卒業後は地元に戻りたいと答えた学生が多かった。また岩国市内については就職対象となりうる病院が少なく、また岩国医療センターのように求人数を減らしていることも影響していると考えられる。

3) 学生募集戦略について

- ・介護福祉学科については、高校新卒生の応募が少なくハローワークからの職業訓練生が中心となっている。そのためハローワークへの働きかけに力を入れている。
- ・医療秘書学科についても介護福祉学科同様募集は厳しい。短期で資格取得ができる機関(ニチイ学館等)との競合に苦戦している。今年度から聴講生制度を取り入れていく予定である。
- ・看護学科については昨年度から募集強化のため、柳井市の准看護師養成所の教員との情報交換会を実施したり、近隣の病院で准看護師として勤務している社会人募集に力を入れている。

委員から以下の意見があった。

- ・HPのブログが定期的に更新されており学校の情報がよく分かって良いと思う。トップページのYMC Aニュースの更新も適宜された方が良いと思う。

4) その他

- ・次回の委員会については、11～12月頃を予定している。改めて日程調整をさせていただく。

以上

2018年度 第2回 学校関係者評価委員会

日時： 2019年1月31日（木） 15:00～16:30

場所： 岩国YMCA国際医療福祉専門学校 1階 会議室

出席者： 白銀 優子 岩国中央病院 総看護部長（本校看護学科第3期卒業生）
半田 達也 介護老人保健施設 みどり荘 事務長
藤本 孝夫 岩国市医療センター医師会病院 事務長
山田 真弓 岩国みなみ病院 看護師長
江見 享子 岩国YMCA国際医療福祉専門学校 校長
福水 美恵 岩国YMCA国際医療福祉専門学校 特別顧問・校長補佐
金澤 暁民 岩国YMCA国際医療福祉専門学校 自己点検・自己評価委員会委員長
沖島 均 岩国YMCA国際医療福祉専門学校 事務長

欠席者： 宇都宮 幹二 岩国YMCA国際医療福祉専門学校 卒業生保護者

進行： 沖島 均

記録： 沖島 均

- 配布資料： 1) 2018年度ボランティア参加内訳
2) 学生による授業評価（講義）アンケート（案）
3) 2017年度学生の実態・満足度調査結果／2016年度・2017年度の比較
4) 卒業生の学科別・地域別就職状況
5) 進路・就職に向けて学生への情報の提供方法について
6) 岩国YMCA国際医療福祉専門学校で現在行っている特色ある学校運営

議題

1. 報告事項

1) 学生募集状況

- ・沖島より現在までの募集状況について報告した。全体的に厳しい募集状況が続いているが残り4回の入試を予定しているので1名でも多くの学生を集めていきたい。

2) ボランティア参加状況

- ・福水特別顧問より12月末までの学生たちのボランティアの参加状況について報告があった。詳しくは別紙資料を参照のこと。

3) 2017年度および2018年度卒業予定者の1月現在の就職内定状況

- ・2017年度の就職実績と2018年度の1月末での就職内定状況の報告があった。詳しくは別紙資料を参照のこと。医療秘書学科の就職未定者が3名いるという報告に対し、委員からその要因についての質問が出た。未定者3名の内、1名は就職を希望せず、1名は応募先は決定しており、応募のタイミング待ちである。もう1名は引き続き活動中である。

4) 授業評価（講義）のアンケート項目について

- ・金澤自己点検・自己評価委員長から今年度は既に各学科においてアンケートが実施されていることが報告された。2019年度に向けて自己点検・自己評価委員会にてアンケート項目を検討し別紙資料の

とおり変更することに決まった。項目等詳しくは別紙資料参照のこと。

2. 審議事項

1) 2018年度「学生の実態・満足度調査」項目について

- ・2018年度の「学生の実態・満足度調査」項目については2017年度と変更せず、2月中には全学科・全クラスを対象に調査を実施する。2016年度からは全学生対象に調査をするように変更し、2017年度には調査項目として、岩国市内あるいは山口県内での就職を希望するかどうかという設問を追加した。
- ・学校としては、質問項目の比較検討をする上でも、3年ぐらいいは同項目で実施した方が良いと考えており、2018年度は昨年同様の項目にて実施する。

2) 2017年度「学生の実態・満足度調査」結果に基づく改善について

- ・設問14の「進路・就職に関する情報提供は十分ですか」という設問に対して、「あまり十分とは思わない」、「十分でない」という回答を合わせると全体の33.5%と良くない結果が出ている。これに対して、自己点検・自己評価委員会にて改善方法を協議し今年度から対応を進めている。対応策については別紙資料参照のこと。
- ・委員の方から、「就職先を選ぶ条件として何を重視しますか」という問いをしているかという質問があった。現在の設問には該当するものはない。最近の学生の就職活動を通して、就職先の雰囲気重視する学生が増えている傾向が見られると教員からの説明があった。

3) 特色ある学校運営について

- ・福水特別顧問より現在行っている特色ある学校運営についての説明があった。詳しくは別紙資料参照のこと。特にYMCAらしさ（国際交流やボランティア等）や地域貢献に力を入れていることが説明された。この説明に対し、委員からは認知症カフェ（YYカフェ）の参加状況について質問が出た。現状は毎回外部参加者30名程度で、スタッフ等を合わせると50～60名になっている。季節感あるプログラム運営をしており、学生たちにとっても高齢者とのコミュニケーションが体験できる学びの機会となっている。
- ・他の委員からは看護と介護の協力体制を強化し、就職現場にて即戦力となるトレーニングを実施してほしいとの意見が出た。病院の入院患者も高齢者が多く、介護の実践力が必要となっている現状報告がされた。

4) その他

- ・今年度の自己点検自己評価については、今後実施する予定だが、昨年度から設問の変更はない。

*今年度の委員会については第2回をもって終了とし、次年度の開催は5月頃を予定している。

以上